

ホーム名：グループホーム Joyful Shirasagi					
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎月、全体会議とユニット会議を行い話し合いの場を設けている。「ゆっくり・一緒に楽しい暮らし」を開設以来の理念で大切にしている。	理念「ゆっくり・一緒に楽しい暮らし」が職員の手により額に納められ、各フロアに提示されている。“趣味やしたい事を尊重し、楽しむ時は職員も一緒に楽しんで支援する”事に努めている。	理念の中身について、より具体的な内容で話し合いを持たれ、更に実践に繋げていかれたい。再度の“目標達成計画”への取り組みに期待する。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎日、近所のスーパーまで出かけ地域交流を図っている。天気の良い日は公園への散歩も行っている。美容室にも行かせていただいている。	自治会に加入しており、地域の事業所に対する理解も徐々に増してきている。散歩中での挨拶や近隣店舗の利用、ボランティアの活用等を通して地域の人々との交流を大切にしている。	運営推進会議へ地域住民の出席が増え、事業所に対する理解も進みつつある。認知症の理解に繋がる一拠点として、更に交流を広められたい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	行事等でボランティアを募り認知症に対する理解を深めている。現在では2・3カ月に1度ぐらい活用している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の場での意見を記録し施設の向上へ役立てています。比較的にリラックスした状態で意見や評価をもらう事もある。	2か月に1度、全入居者・地域住民・地域包括支援センター職員を交えながら開催されている。家族の出席は毎回とは言えない。包括からは行事との別開催を指摘されている。出席者の談、質疑応答の記録が無い。	運営推進会議の目的は何か、を再度認識し、家族へも伝えながら出席に繋がられたい。家族や地域の方々が“出席して為になった”と思ってくれるように、事業所での取り組みや色々な事例を取り上げる等、議題内容に工夫を持たれたい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組を積極的に伝えながら協力関係を築くように取り組んでいる。	まだまだ密とはいかない為、今後もっと連絡をとれるようになっていきたい。	経済的支援者に関する相談や、役所主催の研修に参加している。	事業所の実情を知ってもらう為にも、市区との日頃の対話は大切である。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	身体拘束は基本的に行っていない。しかし玄関の施錠は解除するのは難しい。事故があったからは遅いと思うため。ご家族様にもきちんと説明をし同意を得ている。	転倒リスクのある人にも、見守りで支援している。拘束に関しての話し合いが必要になった事例は無かった。フロア出入口は、安全確保の為普段は電子キーで操作しているが、行事等でスタッフが多くいる時は、開錠している。	声の出し方や言い方等も慣れに陥らない様に、時には会議等の中で日常の支援を振り返ってもらいたい。日中車椅子利用の入居者の支援の仕方を、職員で話し合われたい。
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修にも行って頂き、外部研修を受けた者が内部研修を開催し会議の場でも話しあっている、内部研修を受けた者にも報告書を記入してもらっている。		

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>行政の行う研修にも参加し学ぶ機会を設けている。必要に応じた対応を心掛けている。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居契約時には十分な時間をとりご入居者様の今後について話し合いを行っている。</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見要望を受け入れ事業所としての対応に心がけている。</p>	<p>1階玄関口に「意見箱」の設置がある。家族の来訪時に、会話の中で意見や要望等を聞いている。食事時の調味料（ケチャップ）の添え方に要望があり、反映させた例がある。</p>	<p>今回の外部評価に於けるアンケートの回収は非常に少なかった。運営推進会議時や来訪時には積極的に聞く様取り図られた。家族同士の繋がりが深まる様に、事業所としての手助けに期待する。</p>
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>月に1度フロア一会議と全体会議を行い意見交換している。</p>	<p>職員の勤続年数は長く、積極的な提案や取り組みがなされている。会議への出席率も高く、支援への反映につながっている。</p>	<p>定年の定めが無く、年配職員の生き活きとした働きぶりは、職員間のチームワークの良さを感じさせた。今後も意見や提案を積極的に出し合いながら、益々の支援の充実に繋げていかたい。</p>
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者が直接スタッフ1人1人と話し合う機会を設けて頂ける事がある。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修にかかる費用は全額会社負担して頂けている。スキルアップを目指し内部研修も行っている。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>東住吉区ではグループホーム連絡会や見学会、ケアマネ連絡会などのネットワーク作りに協力的である。</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>意思を伝えれない入居者については表情から意思を読み取り、家族と連携を取り意向を確認する。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>努力している。意思を伝えれない入居者については家族・関係者との連携を取り意向を確認する。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>申し込み時にも他の施設紹介なども行っている。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>なじみの関係が作れている。実際職員は自分の家族よりも長い時間を過ごす入居者の生活をよく考えている。</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>来所時には普段の様子を伝えたり、一緒に散歩に出かけたりする。来所頂けない家族へは瓦版等により様子等を報告している。ジョイフル通信は毎月、全家族様に郵送している。</p>		
20	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>入居時にはなじみの家具等を持って来て頂けるよう支援している。ご近所の友人等も来所して頂けることがある。</p>	<p>美容院やスーパー等、馴染みの店の継続した利用がなされている。近所の白鷺公園へも散歩に出掛けている。</p>	<p>読書が好きな方、植物が好きな方など、過去好きだった事やしてきた事がいつまでも続くように、今後も支援の継続に努めて頂きたい。</p>
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>フロアではよく利用者同士の会話をみかける。孤立されている様子は見受けられない。</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>相談援助はいつでも行っている。また面会に行くこともある。</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	その方の過去の情報や日常生活から思いをくみとっている。	フェイスシートを基に、全職員で情報の把握に努めている。日頃の支援の中では、表情から思いを汲み取り、気づきを職員間で共有しながら支援に活かしている。	今後も入居者一人ひとりと心を通い合わせ、“気づき”を大切にしながら思いや意向の把握に努力されたい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	入居時に家族・関係者から○○さんシート（独自シート）の記入にご協力頂いている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	往診医師・看護師等にも密に連絡し状況把握に努めている。個人ケース記録の見返しも行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ユニットごとのスタッフ配置により、本人を理解する事が比較的早くなり、なじみの関係にてご家族様の要望にも対応できている。必要に応じて個別会議を行い対応にに応じている。	家族からの要望と医師の意見を踏まえ、職員とも話し合いを持ち介護計画を作成している。日々の状態を把握し、職員から見た状態変化は、「ジョイフル通信」にて個々に家族に伝えている。	短期目標、長期目標に於いては、本人が楽しみながら行え、活力に結びつく様な具体的な目標設定が望ましいと考える。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	施設独自のシートにてご本人の生活把握に努めている。水分・排泄パターンを知り、生活状況の把握も比較的スムーズにできている。職員間の申し送りも毎日行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個別の要望にもこたえるように努力し、美容室やスーパーへの外出支援なども行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	公園やスーパーなどには毎日出掛け、時にはお寺や神社まで出かけている。1日中、施設にいないことはないよう意識している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	病院の医師、自ら2週間に1度訪問して頂き、顔なじみのナースによる訪問看護も受けている。さまざまな研修にて職員も入居者様も安心している。入居時に家族の理解を得ている。	協力医療機関による、内科医、歯科医等の診療、薬局による薬の管理、指導がされている。これまでのかかりつけ医に受診している入居者もいる。認知症に対する相談医もいる。	健診、定期検査が行われ、看護師訪問による介護職との連携対応等で予防対応がある。日常生活の中で、入居者の心と身体力をひきだし最大限の行動に繋げられたい。

31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>週2回の訪問看護があり、行っている。時には連絡した際にはとんで来て頂ける。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>適切に行っている。また、入院されている間は、様子を病院関係者との情報交換するとともに、実際に面会し状況確認にも勤めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>去年看取りを行った際には入居者の家族。病院とも話しあいスムーズに行うことができた。最後スタッフより家族へ手紙を渡すという形で看取りをすることができた。</p>	<p>この間、2ユニットで1名ずつ看取りを経験した。医療との連携を取りながら管理者は支援体制を取り、丁寧な見送りができ、家族からも感謝された。</p>	<p>入居者の最期に対する希望を言葉にだして話し合える機会にされたい。看取りの経験を運営推進会議でも紹介されたい。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>救命講習を定期的に行い意識を高く持っている。看護師への相談も常に行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>施設近隣に職員3名の自宅があり何かあればすぐに駆けつけられるようにしている。年に2回消防訓練を行い、避難経路の確認も行っている。</p>	<p>職員全員で訓練に参加。避難場所、方法など消防署からの指導も受けている。夜間出火想定訓練も行われている。上部階住民、近隣にも案内し参加要請が行われている。</p>	<p>「訓練時入居者の動揺は見られなかった」職員の落ち着いた対応が良かったのではないかなと思われる。通報訓練も含め日頃の練習が一番である。今後共安全確認に取り組まされたい。</p>

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>居室へ入る時など必ず声かけを行い、会議等でプライバシーの重要性について時間をかけ話し合い意識している。</p>	<p>ことば掛け、呼称のあり方、居室への入室について等、統一した対応、話し合いがされている。</p>	<p>一人ひとりがこれまで大切にされてこられたことを共有し、生活習慣を継続する支援で新たな不快感をつくらない関係づくりに期待する。</p>
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>誕生日などその方の嗜好を聞き昼食等に取り入れている。日々自己決定が出来る言葉かけに気を付けている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>日々のプログラムをある程度決めているが、個々の希望に添えるよう努力している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>個別の化粧品の購入などの支援も行っている。希望があれば職員が化粧する事もある。行事、外出時にもする事がある。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>出来る事の支援をして、テーブル拭きやお片付けをお手伝いして頂いている。</p>	<p>厨房で職員が調理する様子が臭覚を通して想像させる。少しの声かけ見守りでゆっくり自分のペースで食事をしている。食事介助も心配りが行き届いている。職員も同じテーブルで同じメニューを食している。</p>	<p>誕生日には希望を聞いてメニューを決める。ちらし寿司、お好み焼き、うどん等が人気である。外食時には自分で選んで、びっくりするほど食べる姿がある。今後も楽しみになる支援を継続されたい。</p>
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p>	<p>毎日、食材のみの配達で不足を毎日、スーパーへ買い物に出かけ調達するようにし、看護職員、栄養士からのアドバイスを受けている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>食後の声かけや介助をしっかり行っている。歯科医より口腔ケアについての講習会も受けている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄パターンを把握し拒否がある場合はスタッフを変えて声かけするなどしている。</p>	<p>排泄誘導は入居者のサインを共有して声かけをしている。座位可能な限りトイレでの排泄を基本に支援をしている。</p>	<p>車椅子利用者も多い中で移乗技術、タイミングが要求される。入居者一人ひとりの能力を活かしきる支援の機会でもある。入居者が安心してゆだねられる支援を深められたい。</p>
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>食事量、水分摂取量を把握し専門職員からアドバイスにより予防に努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>ある程度の時間は決めているが希望に応じるように勤めている。</p>	<p>週2回以上の入浴を進めているが入居者からの積極的な希望は少ない。浴槽内浴困難な入居者には浴槽内誘導用具を使用することで慣れてきている。</p>	<p>入浴はリラックスできる時間、最大のリハビリでもある。入浴習慣で「やっぱりお風呂は気持ちいいねえ」と思って頂ける支援に期待する。</p>

46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>広い共用空間を用しており間仕切りや各所に椅子等を設置している。</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>個人ケースに薬事情報を貼り専門員からのアドバイスも受けている。服薬支援も行っている。</p>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>毎日、天候や体調に問題がない限り、散歩に出かけ気分転換の支援を行っている。嗜好に合わせ色塗り・編み物読書などにも対応出来ている。</p>		
49 18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>急に買い物に行きたいとおっしゃられた利用者様にも対応できている。毎年、6月、11月には日帰りで外出している。その事について家族様にも喜んで頂けている。</p>	<p>衣替えの時期に買い物、外食イベントを行っている。日常的には近隣、公園までの散歩、希望があれば買い物支援にも対応している。</p>	<p>事業所には恵まれた環境がある。採光が十分なベランダ、玄関には花壇がある。花をめぐる、香りを嗅ぐ、触れる、太陽の光を浴び外気浴で五感を豊かにする機会を継続されたい。</p>
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個々に応じた対応を家族と話し対応している。</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>フロアの電話を利用されたり、個々に携帯電話を所持されている方もいらっしゃる。</p>		
52 19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>職員の手作りの暖簾をつるし、季節に合わせて、季節折々の絵など作品も飾っている。居心地の良い空間作りを心掛けている。</p>	<p>入居者居室おもてには100歳を祝う大きな文字が目立つ。みんな喜んでくれている様子がある。ひな壇が準備されている。職員一人ひとりの今年の抱負が文字として掲げられている。</p>	<p>ゆったりとしたスペースはユニット間の交流の場としても利用されている。スペースを活かし、身体を動かす遊びを取り入れ「夢中になって思わず手も足も出た」と喜びあえる支援に期待したい。</p>
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>1人になりたい時は自らお部屋へ入室される。プライバシーをしっかりと守られている。</p>		
54 20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居契約時に出来るだけなじみの物を持って来て頂いている。仏壇の持ち込みも可能である。</p>	<p>居室の床面、フローリング面にはベッドが置かれ、畳面で寛ぐこともでき、ホームコタツを利用する入居者もいる。ベッド以外は入居者の持ち込みである。居室の整理整頓清掃は職員の支援で行われ、入居者の自己管理は困難になっている。</p>	<p>入居者の自室での生活がリラックスできているのか、不安な様子があるのか、ささやかな変化も心の動きとして共感できる支援に期待する。</p>
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>個別に出来るようにしている。</p>		

V アウトカム項目		
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができている	○ ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は活き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない